【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2014-107109(P2014-107109A)
【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2014-030
【出願番号】特願2012-258942(P2012-258942)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　61/50　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　61/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　61/50　Ｃ
Ｈ０１Ｊ　61/34　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月7日(2015.8.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内部に発光物質が封入された発光管又は当該発光管の周囲に設けられる保護管を、外球内に組み込まれる支持枠に固定する固定具であって、
前記発光管又は前記保護管の外側周面又は外側周囲を覆う被覆部を有しており、
前記被覆部に前記発光管から出る光を透過させる光透過窓が形成されている固定具。
【請求項２】
前記発光管又は前記保護管の外側周面又は外側周囲の略半周を覆う第１固定要素及び第２固定要素からなり、
前記第１固定要素及び前記第２固定要素が、前記発光管又は前記保護管を挟むように、前記発光管又は前記保護管の中心軸方向に沿って両側に設けられた前記支持枠に固定されるものである請求項１記載の固定具。
【請求項３】
前記被覆部が、前記発光管又は前記保護管の中心軸方向における少なくとも一部において略全周を覆うものである請求項１又は２記載の固定具。
【請求項４】
前記保護管を前記支持枠に固定するものであって、
前記被覆部が、前記保護管の外側周面又は外側周囲において軸方向一端部から軸方向他端部まで覆うものであり、
前記被覆部の両端部に前記保護管の両端開口部に係止する係止部が形成されている請求項１乃至３の何れかに記載の固定具。
【請求項５】
前記保護管を前記支持枠に固定するものであって、
前記保護管の軸方向一端部又は両端部において、前記保護管の軸方向一端部又は両端部の開口部を塞ぐように設けられた閉塞部をさらに有する請求項１乃至４の何れかに記載の固定具。
【請求項６】
請求項１乃至５の何れかに記載の固定具を備えた高圧放電ランプ。